

寺
ごよみ

四月

一日 お講・下村
六日 雪ん子劇団シニア公演
コラーレ pm七時開演
八日 お釈迦様の誕生日
お寺の学校・雪ん子劇
団新学期

浦山以外の方もどうぞ
一六日 太子会お参りバス旅行
お講・栗虫
一七日 十七夜お経会

二七日 チューリップ摘み、飾り
二八日 花の初参り二十回記念
親鸞さま、ご先祖、お
じいちゃん、おばあちゃ
ん、お父さん、お母さ
ん、そしてごもたち
の誕生をよろこぶ法会
です。赤ちゃんの初参
式を行います。
初参式の申込み受付中
受式懇志は三千円です。
二十日までにお申込み下さい。

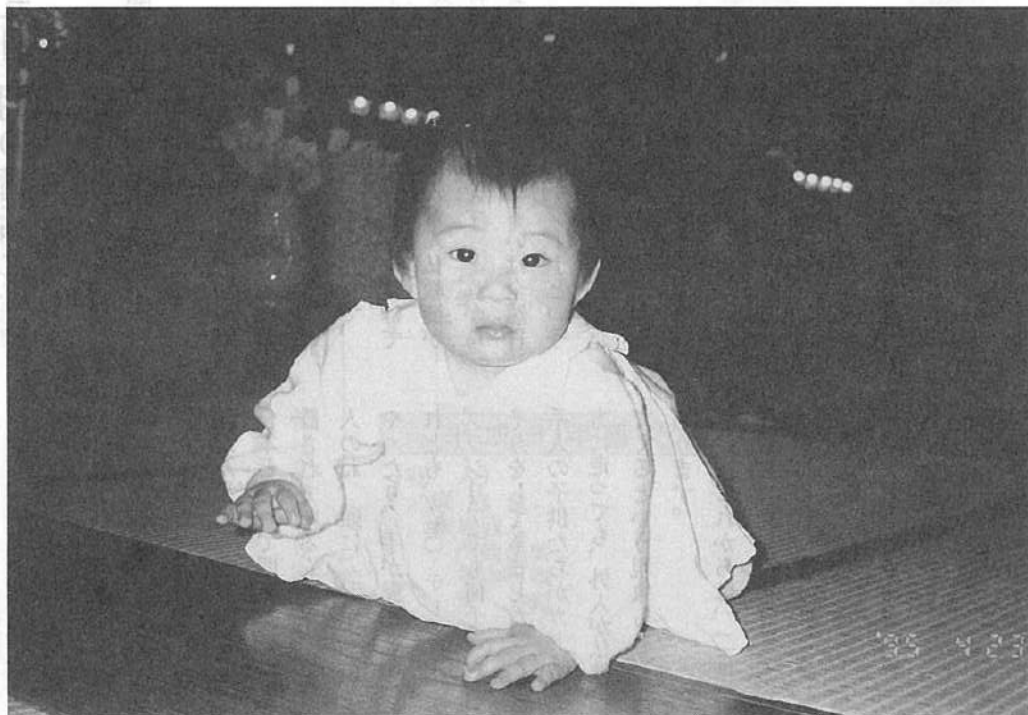
寺報 善巧

発行所
〒938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975

第20回

慶びの春 花の誕生会

四月二十八日午前十時
初参式、チューリップ、縁日。
家族そろってお参り下さい。



花の中の初まいるの赤ちゃん

いつも御紙楽しみに拝読させて頂いております。お寺を囲む皆様が生き生きと輝いて見えます。それぞれの場所で知恵や力を出し合っておられる様子は、さながら「赤色赤光白色白光」で、凄いなあといつも感心しています。

私方は安芸門徒の土地柄ですが、寺の方は微睡み続けています。越中門徒の皆様は笑われないうようにしつかり御法義の花を咲かさねばと思ふのですが、如何せん住職の無能が災いしてなかなか善巧寺様のようにはいきません。そんな中、やっと定着してきた春の行事に初参式があります。

昔、お寺の若はんがお元氣な頃、毎年五月の宗祖降誕会に講演に来て下さいました。「花の初ま

いり」のことも教えて貰いました。チューリップの花飾り？そんなの及びもつかないなあ、と迷いましたが、数年の後、できることから思い立って初参式を始めました。昭和六十年のことでした。初めてということもあって「昔の赤ちゃん」も混じり、ご祝儀気分もあつてか六十五人の参式で、親御さん達も加

拝啓 寺報善巧様

わって大変な賑わいとなりました。沢山のお花と、六十五本の朱蠟の炎でとても華やかでした。終了後、若はん先生が「おい、あの人数はなんだ」と悪戯っぽい眼で言い、続けて「ようこそようこそ」と笑って、拇指を突き出しました。褒めて貰った私はちよつと得意でした……。

六十二年を最後に講演して下さる若はん先生の姿はありません。けれども毎春、初参式の準備にかかる頃には、これは若はんの贈り物だったなあとお返り返ります。

若はんはいつも熟っぽく「寺よ、甦れ」と語っておられました。「気づかずにいるけれど、沢山の贈り物のなかに私たちはいるんだよ」と教えて下さいました。

「大悲無倦常照我」——私たちは阿弥陀如来さまからこの上ない願いを受けていることを忘れずに、お念仏申しながら歩んで行きたいものと思います。またいつか。

正圓寺住職
大江一亨



空華忌講話

平成七年十一月五日 朝の講話より

(その二)

前南米開教総長 高田慈昭先生

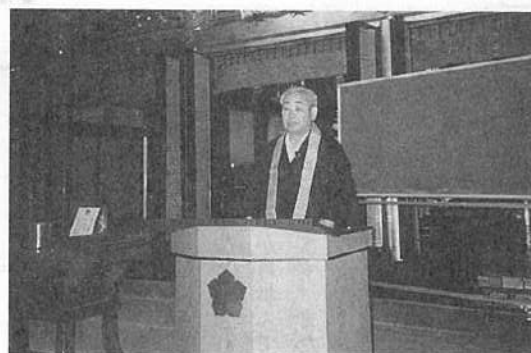
一方では、外人の若い夫婦が子供抱いて、おかみそりを受けたいと、初参式に来るんですよ。これはカトリックでは洗礼というのがありますね、入門する儀式で、それと同じように自分達は仏教徒というわけで外人や日本人、あるいは夫婦が、全然違う混血の子供を抱いて、帰敬式おかみそりや初参式に参ってくる人が何人もあるんです。私はその人たちにおかみそりを何遍もやりました。だから一方では外人が仏教徒に帰依する人が徐々に増えています。昨年、西本願寺の御門主に教団の四十五周年記念の時に、ブラジルまで来ていただきました、盛大なご巡教法要のおつとめをさせていただいた。その時に百五十人は

とおかみそりを受けた方がございます。その内の三分の一は外人だったんですよ。日系人じゃない外人がずらーっと並んで、御門主からおかみそりを受けているんです。だんだん仏教徒が増えつつあるんです。それからブラジルとかあるいは全然日系人がいないテレジーナという所があります。大分北の方、北の方いうたら寒いでしょ、向こうは違うんです。北の方が暑い。南に行く程寒くなって雪が降るんです。わかりますか、地球は赤道を中心に、日本だったら北が寒い、南は暖かい、窓も南の方が日が当たる。向こうは逆。南の窓は寒い、北側の窓がお日さま入る。北へ行く程赤道の方に行きますから暑い。そのテレ

ジーナという所は大分北の方なんです。そこは日系人が一人もおりません。でも浄土真宗に帰依した高等学校の先生がおりまして、おかみそりに来てくれと言われて私行ってきたんです。二十人程若い人や中年の人や子供から年寄りもありますけれども、大体みんな若い。カメラマンもおりますし、放送局のアナウンサーもいましたしね、会社員もいる、弁護士もいる。いろんな階層の人ですよ。その人たちにずっとおかみそりしてきたんです。海外開教区では、日本と違って開教総長はそれが許されているんです。金髪美人のね、頭に（おかみそりを）やったり、手が震えなかったけれども、（笑）テレジーナとかブラジルでも何十人もおかみそりをしてきました。だから日系人の子供たちがカトリックの方に走っても、外人が仏教に入ってくるという現象もあるわけがあります。

でもこれからは、二世三世のお坊さんたちを、育てていくということが一番大事なことで、なんといつたってやっぱり親や先祖、おじいさんおばあさんからずっと伝わってきた、手を合わす習慣を持っていますから、その子供たちの中から向こうの大学を卒業して、それから京都の龍谷大学とか中央仏教学院とかあるいは行信教校という仏教の専門学校に入って、そして勉強してまたブラジルに帰って、開教師のお坊さんになる。その人たちが今現在も二人留学しております。来年また一人来ます。みな優秀な人です。アルゼンチンの開教師はグスターボー青木君という二世のナンバーワンの開教師でやとります。日系人の二世三世のお坊さんたちがみなポルトガル語で「ボンジーア、オブリガード」いうて、なんなんだぶつの教えを伝えていってくださることを、私は期待しております。故郷を慕うという、生まれ育った我が祖国、あるいは親の待つ故郷へ帰る。こういう気持ちというのはこれはなんといつも一番心の安らぎなんです。また心の支えてございます。

親鸞聖人がこの帰命というところをおっしゃった。「帰命無量寿如来 南無不可思議光」『私は無量寿如来に帰命し、不可思議光に南無したてまつる』正信偈のはじめにこうおっしゃっています。無量寿仏、無量寿如来、命に限り無い阿弥陀さまに私は帰依いたします。身も心もお任せいたします。また不可思議光という計りなき光明の阿弥陀さまに私の人生全体をうち任せていきます。そう言う風に親鸞聖人はまず正信偈の始めにご自身のご信心を表明なされておりますね。この帰命ということはこれは信心ですね、南無ということと同じ意味です。南無というのはインドの言葉でナマス、これを翻訳したら帰命ということなんです。帰命ということは帰という字はこれは帰順、命というのは勅命という、帰順というのは従うということです。また帰というのはかえる、命というのはこれは仰せということ、阿弥陀如来の仰せであります。帰命の命をいのちと読んではいけない。いのちという読み方もありますけれど、浄土真宗ではそうではない。帰命の命は、命令の命に



も近い。これは仏さまの仰せに従う、その仏さまというのは無量寿如来、不可思議光という阿彌陀如来であります。

この阿弥陀如来の仰せに従う
という、仰せを特に勅命という
言葉を使われた。勅命というこ
とを親鸞聖人はおっしゃつてい
る。一般に仏教ではこの命とい

うのは教命という解釈はもちろ
んございます。仰せはそのまま
教え、教えの仰せという意味で
ありますが、帰順教命という解
釈はすでもう古くから中国で
も他の宗派の方でもちゃんと
言っています。ところが親鸞聖
人はこの教命というのを、勅
命とおっしゃった。勅という
字を使っている。勅という字
を使っている。

この勅命という言葉はですぬ
これは天子さまの言われる仰せ
ということです。日本でも昔か
ら天皇の言われる言葉は勅語と
いう、教育勅語とかあるいは天
皇の使いで来られる方は勅使と
こう言つた。親鸞聖人は日本の
天皇のことをおっしゃったんじや
ない。古い支那の中国の方では、
天子さまの言われる事は天下万
人すべての国民がそれに従うべ
きものであるとこういう意味で
す。こういう意味を用いられた
わけでございまして、今阿弥陀
如来の仰せは生きとし生けるも

のがみんなこれに従うべき、絶対的な大慈悲の仰せである。救いのお言葉である。ということを表すために、それをおっしゃったわけでありませう。つまり絶対的な阿弥陀さまの仰せというものは、絶対的なこの大慈悲、大悲の仰せであるということをおっしゃっているわけですね。

これについて、実は戦争中にこの軍部が中心になっておった日本の政府が親鸞聖人の書かれた書物の中に勅命という言葉がある。これは不敬罪である。天皇だけが用いる言葉にこういう言葉を使うことはいけないから、これを全部取り消せ、消しなさいという命令がでたんですよ。それに対して堂々と文部省、内務省あるいは軍部に、それを抵抗した立派な方々もおられるわけでございます。これは勅命問題といって大きな問題になったわけですが、この勅命だけじゃなしに、天皇に関わる問題が仏典の中に、親鸞聖人の書かれた本の中に、何箇所もある。それが全部いけなと言つてそれを全部かき消しなさい、読んではいけな削除せよ。そういう風な命令が戦争中にあったんです。ご存知の方もあると思いますけどね。これは本願寺の方からそれは、この勅、命と

いう字は天皇陛下と関係ありません、ここでいう勅命の勅というのはこれは阿弥陀さまの仰せのことです。仏教の宗教的な用語で阿弥陀仏の仰せのことでありますといくら弁明しても軍部は聞かなかつた。その当時は阿弥陀さまより天皇陛下の方が偉かつた。戦争が終わってから天皇さんは、わしは神さまじゃないわしは人間だ、と言うて人間宣言をされたくらいですから。今ごろは「朕は」なんて言いませんわな、天皇陛下も「私は」と言います。戦争が終わるまでは私も小学時分から、「畏れ多くも……」と言われたら「ビシッ」とこうしたもんです。「かしこ

くも」とこうやってね。天皇陛下はもう絶対的なものでした。だからその前には他の仏教もキリスト教も天理教も他の宗教もみな押さえられとったんよ。そういう過去の歴史がございます。戦争が終わってからもうそういう事はなくなつて天皇陛下は神さまじゃなくなつて、戦争中は神さまにしとったからね、現人神とこう言つたものです。だからそういう風な事件もあつたくらいなんです。親鸞聖人のでられた鎌倉時代には天皇さんといふのは神さまでもなんでもない。幕府の権力によつて隠岐の島へ流し者にあわされた御鳥羽上皇なんて、天皇ですよ。天皇が臣

下に流し者にあわされてるような時代ですから、武家の権力というものは天皇よりはるかに上だった。それがずーっと明治維新まで徳川時代が終わるまで続いたんですよ。だから天皇を神さまのようにしたのは明治維新以後なんです。だからお宮さんでも明治維新以後にできたものもたくさんある。この間も知り合いの人と京都の平安神宮に行つた。やつぱり昔からお宮さんは立派なものですな、というから、これは明治以後にできとる、明治以前は平安神宮なんてなかった。伊勢神宮は古いですよ。伊勢とか出雲はこれは古い。

(2.5.5)

いよいよ北陸公演
申し込みは善巧寺へ
『蓮如』—われ深き淵より—



五木寛之 作

劇團創立六十五周年紀念
運如上人五百回忌記念
前進座公演

高瀬 繁一郎 演出

われ深き淵より

焦土と化した町に、新しい再生の
灯をかがけて疾走する革命児連如。
声なき無数の大衆のエネルギーに火をつけ
乱世の法城を築きあげた人間蓮如の魂を描く。

6月13日(木) 午後5時30分開演 富山県民会館 観劇料金

14日(金)午後1時00分開演 富山県民会館 6,000円
15日(土)午後2時00分開演 新川文化ホール 5,000円

●チケットのお求めは、最寄りの浄土真宗各寺院・各別院・各教務所
●お問い合わせ 富山別院(お西)0764-21-6672 (お東)0764-21-9770
北日本新聞社事業部 0764-45-3355

21世紀にむかって はばたく こどもたち

雪ん子劇団主宰
雪山玲子

Essay
Essay
Essay

今年の秋、富山で国民文化祭が開催されます。昨年は某大学の舞台芸術学科の設置問題が云々されましたが、利賀村では劇団スコットが地方から中央へ演劇文化を発信しています。アマチュア劇団も世界演劇祭などで気炎をあげています。

そんな富山県ですから、国民文化祭演劇部門では、一昨年から、どうやって富山らしさを表現しようかと思案し、昨年暮れにはいよいよ具体的に進みはじめました。とやま国際演劇祭、国際こども演劇祭として、海外から数多くの劇団を招待しようとしています。私も海外の児童演劇を見るのははじめてですから、大変興味深いものがありますし、同じ演劇に携わる者としての交流をはかることができましたと期待しています。

演劇は、自分以外の人を演じてみることによっていろんな人の立場を知ることができます。相手の立場に立ってみるということ。仲々むずかしいことです。人間というのは本来自分中心でわがままなものです。しかし、多くの人々と関わり合って生きている以上、相手の立場を考えることはとても大切なことである筈です。そんな心を演劇を通して学ぶことができます。難民キャンプで生の様相を見ている犬養道子さんは、相手の立場を考えるということは国際人としての第一歩だとおっしゃっています。仏教徒であった私の夫も「自分のことよりちょっと人のことを考えよう」ということをこどもたちにも言っていました。私のお寺の



雪ん子劇団のこどもたちはこれを合言葉にしています。おやつを分ける時も、下級生に先に与えたい上級生がいます。早がわりの舞台の袖で、下級生の面倒を見ていて自分が出遅れてしまった上級生もいます。人のことを先に考えるということは簡単なことではありませんが、雪ん子のこどもたちがその努力をしている姿に、うれしい思いをすることがたびたびあります。

雪ん子劇団の舞台の上では、どの子もみんな主役です。みんなが一つになって精いっぱい演じているこどもたちの姿は輝いています。こんなうれしい経験をした劇団のOBGたちが、また演劇にとり組んでいます。劇団にいた頃は遊び半分でしたが、今は違います。いのちの尊さを訴える作品を作りながら、自分の人生を考えるようになりまし。観客と舞台が一つにとけ合って共に感動するよろこびを知ることができました。

今度の国民文化祭にむかって、小学一年生の雪ん子ジュニアから、二十七歳の雪ん子シニアまでが、心を一つにして芝居づくりに励むことでしょう。

さらに世界のこどもたちとの出会いの中で、生かされて生きる人間のなまのふれ合いを、うれしく感じとっていくことでしょう。

二十一世紀にむかって、はばたくこどもたち。

本願寺富山別院 スピーチコンテストに

日校卒業生二人が出演、ともに入選

「ほうびはハワイ研修旅行

二人のスピーチをここに紹介

生まれてよかった

あえてよかった

桜井高校一年 中麻由子

私が雪ん子劇団に入ったのは小学校一年生の時でした。はじめは大勢の人の前で何かをするのが恐くて私にはできないと最初から否定していました。だけど母に無理に連れていかれて、やってみればすごく楽しくてたくさんの人に出逢えるのがとても嬉しく思いました。

私が五年生の時、劇団の男先生が亡くなりました。身近な人が亡くなる経験の少なかった私は、人はいつか死ぬんだとわかってはいたはずのことがとても信じ



います。私が最近思うことは、どこにも障害がなく毎日なんとなく過ごしている、例えば私のような人間は、生きることが当たり前になりすぎて、毎日が永遠に続くように錯覚してしまっているのではないのでしょうか。

いつ何があるかわからないし、もしかしたら明日死ぬかもしれない。そのことを忘れてしまっています。生まれてよかった、家族や友達に出逢ってよかった、そういう気持ちを忘れてしまっていると思います。(中略)

私はこれから大好きな人たちと一緒に、大好きな演劇を通していろんなことを感じながら、お客さんにもいろんなことを感じてもらえたらとても幸せだと思います。そして私はいつまでもこの劇団を続けていきたいです。

明日に向かって

宇奈月中学二年 有馬 聡子

私の家は善巧寺というお寺の門徒です。私は姉と兄が善巧寺の児童劇団「雪ん子劇団」に入っていたので小さい頃から雪ん子の公演を見に行っていました。そんな私は小学生になって当然のように雪ん子に入りました。

劇団の男先生と女先生は学校の先生と同じくらい、いやそれ以

上に大切なことを教えて下さいました。私の心に残ったことは主に二つあります。

「主役は誰ですか」と公演先でたずねられた時、二人ともきまって「みんなが主役です」と答えておられました。この言葉があったからこそいつも目立たない役の私もがんばってこれたのだと思います。そしてこの言葉は、仏様はみんなを平等にいつでもあたたく見守って下さっているということなのだと思います。

そしてもう一つは、男先生の口グセだった「自分のことより人のことを考えよう」ということでした。この言葉はまさに名言です。これは仏様のお慈悲の心です。こんなにすばらしいことを教えて下さった男先生は、私が小学校三年の秋に亡くなりました。とても悲しい出来事でした。でもこれはどうしようもない事でした。私なんかより、女先生の方が悲しんでおられるだろうと私は思いました。ただ女先生は「男先生は仏様になられたのよ。だからいつもそばで見守っているんだよ。」とおっしゃって、女先生は強いなあ后感嘆しました。(中略)

私は雪ん子のおかげで自分の好きなことを見つけることができました。それは演劇です。去年は前から願っていたシアターの初公演を果たすこともできました。「しあわせ色の青い空」という劇で、とても大切なことを教えてくれます。(中略)

きました。それは演劇です。

去年は前から願っていたシアターの初公演を果たすこともできました。「しあわせ色の青い空」という劇で、とても大切なことを教えてくれます。(中略)

大切な命を消費しないで、消費しないで下さい!! この話はいくつかの実話をもとにしてできた物語です。だからこそ劇中の人たちのうったえをみなさんに伝えたいのです。

自殺してはいけない、戦争をしてはいけないよ。仏様がいつでもどこでも見守って下さっているんです。今、私と同じ年で自殺をしてしまう人が増えてきています。「誰も自分のことをわかってくれない」そんなことはありません。どんな時でも仏さまは見守って下さっているし、自分のことより人のことを考えることのできるお慈悲の心を持っている人は沢山いるのです。

私は明日にむかって生きていくと思います。くじけそうになつたら、男先生のこと、「しあわせ色」の妖精たちやムッチャんのこと、素晴らしい仲間がいること、仏様が見守って下さっていることを思い出していきこうと思っています。

そして人のことを考えられる人間になりたいと思います。

春の総代会 3・20

善巧寺春の総代会は三月二十日、善巧寺集会所で開かれました。

まず真宗々歌を唄って仏様へごあいさつをした後、退任された総代二人、板屋の嶋田久一さん、嶋田松伊さんの紹介がありました。久一さんの後任には昨年からの代理として出席されていた嶋田久之さんがあたられます。平成七年度の事業報告及び会計報告では、事業という名を使うからにはその事業に合わせた予算決算が必要であること、法人である以上、監査役をおくべきであるという意見が出されました。

事業計画

事業計画及び予算では、今年は盛り沢山の行事が目じろおしで、富山本願寺三大法要団体参拝、本願寺念仏奉仕団、善巧寺二十一世住職隆弘法師七回忌などが主なものです。七回忌法要については、できるだけ質素にする予定で、一般会計内で、法要費を百万円余分にとるようにやりくりする程度になりました。

お墓の移転も雪山家の方で。

善巧寺

二十二世住職 継職は来年十月

次期住職決定は寺則に従うこと、披露期日は平成九年十月十九日午前に決定しました。法要規模は、これはおめでたいことですから賑やかにと特別会計をくむことになりました。記念事業は修復のみにしほりたい意向ですが、来年の浦山地区の下水工事に合わせて台所、トイレ、玄関まわりの改築、本堂西側の廊下の雨よけ、境内トイレの改築、鐘樓の塗り直しがあげられました。しかしこれらを見積ると二千五百万円から三千万円となり、募財をどうするかで協議は難航しました。また本願寺連如上人五百回遠忌の懇志も善巧寺では遅れているので、募財はこの二つを合わせることにあります。金額、時期もなかなか決まらずついにもう一度四月に総代会を開き、具体的な予算を立て直して協議決定することになりました。

昨年出た意見ですが、同じく嶋田総代から、会館は雪ん子劇団が使っているようだが、私達の地区の子供には関係がない、維持費などはどうなっているのかと質問がありました。雪ん子劇団の親の会では、門徒さんでない方もおられて気にしておられることから、会館使用費や維持費の為の会費を集めて下さっています、と昨年通りの答でした。たしかに雪ん子劇団のジュニア・シニアが会館を使う率は最も高いのですが、これだけ多くの若者が集まるお寺は全国でもめずらしく、他教区の少年連盟からは羨ましがられています。しかし、肝心の門徒のみなさんの理解をえられないということ、悲しくもあり、考えさせられることでもあります。ただ雪ん子の他にも、月一度のお経会や教化推進協議会などは、会館ホール、法事の打合せや相談事は会館事務所を主に使っています。

富山や魚津の青年たちが自由に遊びにきていますし、車社会ですから、どうか遠方の門徒さんもお寺をかりて、グループの活動や、催しをするよう、お子

さんお孫さんにおすすめ下さい。次にお寺の活動の活性化のために各行事担当者を決めましょうという提案には事務局一任ということに。

その他、いつも清掃作業で大変な浦山の方にお礼を出してはどうか、欠席の総代には代理を出すか委任状を出してもらおうかなどが話し合われました。

教化推進協議会

三時間近くかかった総代会を終えて四時から本堂でおつとめ、会館ホールに場所をうつして教化推進協議会に入りました。総代会代表鬼原勝次さん、白鶴会代表菊池れいさん、夢を語る会代表八木秀雄さん、育てる会代表高島有哲さん、花の会代表高山俊隆、連研担当神子巧さんからの報告がありました。

お寺は何のためにあるのか

最後に鬼原総代が、「お寺は何の為にあるのか考えてみよう。今のお寺は仏教本来の心をぬきにして形式だけになっているのではないか。それなら、葬式、法事も公共の建物でやればいい。

しかし、現代の若もの、例えばオウム教の若者も純粹に何かを求めているのではないか、その心をうめるものは何か。それが仏教の心であるはずだ。このお寺が多様なことをするのは、その心が我々の生活に密着しているからだ。今このお寺にきている子供たちが二十年、三十年後、どんな花の開き方をするかが楽しみです。どうか今のお寺の活動全てをつづけて下さいと私は言いたい」と言葉を結びました。



十七日夜の勉強会

教化推進協議会

平成7年善巧寺一般会計決算報告

(収 入)	(予 算)	(決 算)
1. 繰越金	369,376	369,376
2. 布施収入	9,750,000	10,083,012
門徒法要	8,100,000	8,410,600
年中行事	1,150,000	1,235,100
賽銭	400,000	407,912
雑収入	100,000	30,000
3. 会費	4,700,000	4,936,000
4. 特別志	200,000	0
5. 雑収入	180,624	153,380
合 計	15,000,000	15,541,768

(支 出)	(予 算)	(決 算)
1. 人件費	7,220,000	7,200,000
2. 運営費	4,600,000	4,653,396
法要	1,250,000	1,245,900
教寺車	900,000	944,538
会接雑	950,000	935,608
維持費	1,000,000	1,006,064
宗営保	200,000	194,525
予備費	200,000	326,761
3. 雑持費	100,000	0
4. 予備費	2,100,000	3,199,434
合 計	950,000	1,094,530
	900,000	1,918,776
	250,000	186,128
	1,800,000	0
	15,000,000	15,052,830
	*差 引	+ 488,938

平成8年善巧寺一般会計予算

(収 入)	
1. 繰越金	488,938
2. 布施収入	9,950,000
門徒法要	8,300,000
年中行事	1,200,000
賽銭	400,000
雑収入	50,000
3. 会費	4,900,000
4. 雑収入	161,062
合 計	15,500,000

(支 出)	
1. 人件費	7,200,000
2. 運営費	4,600,000
法要	2,250,000
教寺車	900,000
会接雑	950,000
維持費	1,000,000
宗営保	200,000
予備費	200,000
3. 雑持費	100,000
4. 予備費	2,300,000
合 計	1,000,000
	1,000,000
	300,000
	400,000
	15,500,000

下村のお講仏さま
—二百年ぶり(?)の—

お修復

下村には本願寺十七代門主、法如上人から下付された阿弥陀さまのお幅があります。法如上人が在世の頃の善巧寺は明教院僧鑑住職の時代です。このお幅はおそらく僧鑑師が本山に上られた折にご門主からいただかれたものであらうと思われまします。この二百年の間にはお修復をしたこともあったのかもしれないが、裏書の釈法如という字も何とか判読できる程度。

「このまま放っておいては二百年前の仏さまを次の世代にわたすことはむずかしい。まして仏縁がうすれていく現在、今自分が修復して仏法を大切にすることを伝えていかなければ」と思いたれたのが岩上総代さん。お修復なつたお講仏を公民館におむかえして、お修復記念法要を営まれました。岩上さんに代わって善巧寺が、仏様の由来と、あいながたくしてあう仏法とのご縁の尊さをお話しさせていただきましました。

「前に生まれんものは後をみちびき、後に生まれたものは前をとぶらへ」というお言葉の通り、ちよつと先に生まれた私が、

後に生まれた人に伝えねばという岩上さんのあつい思いがひしひしと伝わって、こみ上げてくるものがありました。ふきのとうが顔を出しかけた春間近の二月二十九日の午後でした。

雪ん子予備軍

劇団見学



善巧寺仏教婦人会
白鵠会総会 3/15

前住職近況

平成五年七月に再入院をして八か月の病院生活、その後二年間の自宅療養をつづけている前住職はこの一月で八十五歳になりました。女房に世話をしてもらって日々を過ごしていますが、看病の方も大変でぎっくり腰をおこしかけて治療に通ったり、がんばれがんばれというところ

病床に ラジオを友に
春は遅々
硝子戸一枚
外はわが庭雪残る
俊之

寺
ごよみ

五月

一日 お講・音沢1
一日 富山別院団体参拝
一六日 お講・音沢2
一七日 十七夜お経会

寺
ごよみ

六月

二二日 大阪常見寺専精舎夏講
二六日

一日 お講・東狐、上野
一日 第一九回野休み落語会
一五日 『連如』新川文化ホール
一六日 お講・音沢3
一七日 一七夜お経会
二二日 雪ん子九州宮崎公演
二三日 本願寺念仏奉仕団
二五日

雪ん子劇団シニア第二弾 手話入ミュージカル 翔べいのちの詩

四月六日(土)午後七時開演
黒部市国際文化センター「コラーレ」

いのちの尊さと生きるよろこびを謳いつづける雪ん子シニアの第二弾です。シニア達のせいじつばいの演技にどうかあたたかい拍手を。一部座席指定。
大人千円、高校生以下 六百元(当日二百円増)

太子会

四月十一日

聖徳太子の祥月命日四月十一日に太子会が勤まります。聖徳太子を偲んで行われるこの太子会は、建設関係の方にも参列していただいて、お寺の維持管理の相談をしています。今年も寺院の参拝と見学を行う予定です。行き先は未定ですが、八時本堂で太子会法要のあと、九時に出発、日帰りとなります。費用は一万円以内。どうぞご参加下さい。

二十周年記念

花の中の初参式

四月二十八日(日)午前十時

仏教徒である私達は、人生の節目の儀式を仏前でするよううにいたしました。仏さまの子として生きて、仏さまのお国にかえらせていただく私たちですから。
受式懇志は三千円。
お申込みは二十五日まで。 電話六五〇〇五五
ご近所の赤ちゃんを是非おさそい下さい。

第十九回 野休み落語会

六月十一日(火)午後七時半開演



ご存じ「六輔七転八倒野休み落語会」、今年は六月十一日、午後七時半、善巧寺本堂「お寺座」で開催。
おなじみ永六輔、入船亭扇橋、柳家小三治さん。
ゲストは、花島皆子、世津子さん。
二つ目は柳家小のりさん。
お代はいつも通り二千円のまま。

富山別院三大法要団参募集

期 日 五月十一日

参加費 四千元(弁当代を含む)

申込み 申込み金千円をそえてお寺まで

富山別院でのご親修法要、テクノホールでのよろこびの集いにみなでおまいりいたしましょう。

本願寺念仏奉仕団募集

期 日 六月二十三日～二十五日

参加費 三七、〇〇〇円

申込金七千円をそえてお寺まで

ご門主さまとの記念撮影もあります。この機会におかみそり、納骨も。

前進座公演『蓮如』

期 日 六月十五日午後二時

場 所 新川文化ホール

料 金 六、五〇〇円

蓮如さまがあなたの前にいらつしやる―蓮如上人五百回忌記念の舞台です。チケットのお求めはお寺まで。

詳しいことはお寺へお問い合わせ下さい。

合 掌

五百戸余の門徒報恩講まわり、年度末の決算、仏教婦人会白鶴会の総会、総代会及び教化推進協議会、雪ん子劇団の春の公演と一つ一つ終える度に肩の荷が軽くなっています。皆さんのお力添え感謝します。しかし、この寺報を発行するまで本当の春はきません。

七面の記事、岩上さんの心意気に感銘をうけています。この話に刺激をうけたある総代さん、私も何かやらなければと――。
五面の二人もうれしい思いをさせてくれました。誰の言うことを聞いて生きるかつてほんとうに大切です。

春といえば雪ん子の卒業公演。花束をかかえて力の限りうたっている、その輝いたひとみがすてきでした。楽しい思い出をいっぱいありがとうございます。

もう一つがんばらなければならぬことがあります。四月六日のシニアの公演です。雪ん子ジュニアのように遊びながらというわけにはいきません。みんなの目が血走ってききました。きつといい舞台になります。

